

男女共同参画

リボン運動（アウェアネス・リボン）

企画課男女共同参画推進室

☎ 23 | 3 9 1 7

メッセージを込めたりボンをシンボルマークとして、支援や賛同、協力を求めるリボン運動という取り組みがあります。衣服にブローチのように付けたり車にマグネットで貼ったりしているのを、見かけたことがあるかと思いません。

最近では、さまざまな色のリボンを目にするようになりました。ピンクリボンは知っているけれど、他の色は何の運動か分からないという人もいるのではないのでしょうか。

今回は男女共同参画や女性に関わるリボンについて紹介します。

ピンクリボン 乳がんの正しい知識を広め、検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発活動のシンボルマーク。生涯に乳がんを患う日本人女性は、現在12人

に1人（国立がん研究センターががん対策情報センター統計2010）といわれています。早期発見につなげるためにも、乳がん月間の10月を中心にさまざまな啓発イベントが開催されます。

パープルリボン

女性への暴力



の根絶を訴える運動のシンボルマーク。発祥はアメリカで、日本でも年々拡大してきている運動です。女性の4人に1人は配偶者から暴力を受けたことがあり、10人に1人は何度も暴力を受けているのが現状です。

（内閣府調査2015）

オレンジリボン

児童虐待防止運動のシンボルマーク。

リボンの種類は、ほかにもたくさんあります。賛同できる運動があればリボンを付けて、さりげない支援や賛同の意思を表してみてください。